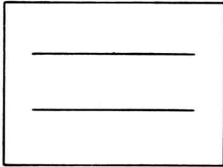


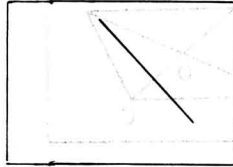
7. まとめ

○ 模範解答は板書する。(OHP  
で投映しノートさせることは、  
のぞましくない。)

TP1-1

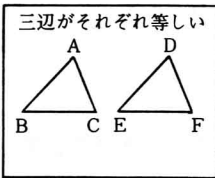


TP1-2

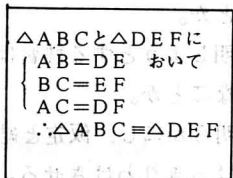


- (1) 復習にOHPを用いると時間が短縮される。
- (2) 二直線が平行であれば同位角，錯角はそれぞれ等しいこと，同位角や錯角が等しければ二直線は平行であることを確認させる。

TP2-1

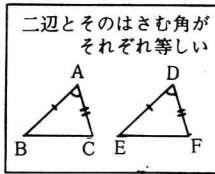


TP2-2

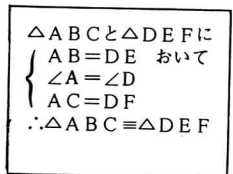


- (1) TP2-1の映像をみせて，二つの三角形が合同であることを記号を用いてノートにかかせる。
- (2) TP2-2を投映し，記述のしかたを確認させる。

TP3-1

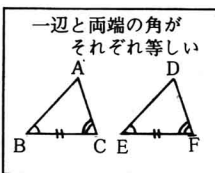


TP3-2

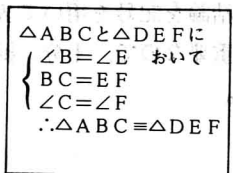


- (1) TP3-1の映像をみせて，二つの三角形が合同であることを記号を用いてノートにかかせる。
- (2) TP3-2を投映し，記述のしかたを確認させる。

TP4-1

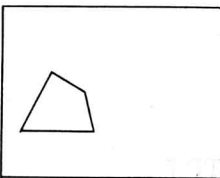


TP4-2

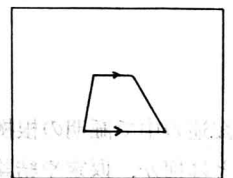


- (1) TP4-1の映像をみせて，二つの三角形が合同であることを記号を用いてノートにかかせる。
- (2) TP4-2を投映し，記述のしかたを確認させる。

TP5-1

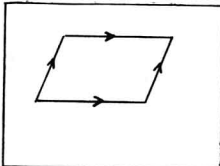


TP5-2



- (1) TP5-1を投映し，四角形の定義の説明をする。
- (2) TP5-1，2を投映し台形の定義の説明をする。

TP5-3



- (3) TP5-1，2，3を投映し，平行四辺形は台形の特殊な図形であることを理解させる。